

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	基礎看護技術論	1	30	1 年次	4 月	市場美織 高松三穂子
<b>授業概要</b> 看護実践の基本となり、あらゆる発達段階、健康の状態にある対象への看護で共通する知識・技術の習得が出来ることをねらう。						
<b>到達目標</b> 1.対象との関係を形成するためのコミュニケーション技術について理解できる。 2.あらゆる健康状態にある対象の安全を守るために必要な基礎的な知識と技術を身につけることができる。 3.看護における指導場面において、基礎的知識およびその方法を理解できる。						
<b>使用教材</b> テキスト：①系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ：医学書院 ②系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ：医学書院 ③看護がみえる① 基礎看護技術，2018：メディックメディア <b>参考文献等</b>						
<b>評価</b> 筆記試験 <b>授業計画</b>						
時間・回数	授業内容					方法
6 時間・3 回	1. コミュニケーションの技術 1)コミュニケーションの定義や看護における意義 (1)コミュニケーションの構造とプロセス (2)言語的・非言語的コミュニケーション (3)コミュニケーションに影響する因子 (4)効果的コミュニケーションや影響する諸条件					講義 演習（ロールプレイング）
16 時間・8 回	1. 基本的欲求としての安全 1)マスローの安全欲求 2. 身の回りにおける危険因子について考える。 1)学校の環境における危険因子 3. 安全を阻害する因子 1)患者が持つ阻害する因子 2)医療従事者が持つ阻害する因子 3)その他の因子 4. 安全を点検する側面から安全安楽に基づいた看護 1)患者の行動における安全（年令、障害、環境、認識） 2)医療従事者の行動における安全 （感染予防、観察、確認、リスクの認知） 5. 感染予防 1)感染予防の意義と原則                   2)感染予防の基礎知識					講義 実技

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	基礎看護技術論	1	30	1 年次	4 月	市場美織 高松三穂子
時間・回数	授業内容					方法
	3)滅菌と消毒(微生物学の病原菌の知識と理学的・科学的滅菌・消毒について関連させる) 4)院内感染の定義、対策 6. 感染予防のための技術 【実技：衛生的手洗い】 【実技：鉗子・鑷子の取り扱い】 【実技：滅菌パットのあけ方】 【実技：滅菌物の渡し方】 【実技：滅菌手袋の装着】 【実技：ガウンテクニック】					講義 実技
7 時間・4 回	1. 看護における指導的活動と方法について 1)看護における指導的活動 2)指導を受ける対象、媒体、指導のプロセスと方法 3)指導技術、コミュニケーション技術 2. 対象の健康問題に応じた指導案の作成 1)指導案とは：要素、書き方について 2)指導案の作成（個別指導・集団指導） 指導の必要な健康問題を選択し、指導案を作成するプロセスを学ぶ。 文献検索 3)指導案に基づいた媒体の作成 4)指導案に基づく指導を通してその実際と評価方法を学ぶ。 (1)指導の実際：発表（ロールプレイング）および講評					講義 演習（ロールプレイング）
1 時間・1 回	筆記試験					
備考 ○感染予防のための技術は日常生活援助技術Ⅱ・Ⅲ、診療の補助技術論演習の技術試験に応用する ○指導技術に関しては、問題解決技術論演習を学んだ後で学習する						